



# JPTA 能登国際女子オープンテニス

ITF Woman's Circuit  
US\$25,000

Sep.2-9,2012  
In a Fujinami  
Athletic Park



国際大会を開催できる施設がある。  
運営する知識と技術がある。  
培われた歴史と伝統がある。  
この町にはテニスがある。

6年目を迎えた「JPTA能登国際女子オープン」。今年も若手女子プロが世界を目指して熱い戦いを繰り広げた。能登国際は、国際テニス連盟 (ITF) と日本テニス協会 (JTA) が公認する国内 17 大会の一つ。賞金総額 25,000 ドルの大会は、能登国際のほかに軽井沢国際女子やセキショウオープンなど 5 カ所で開催される。今年もイギリスやアメリカのほか、カザフスタン、クロアチアなど世界各国から 75 人の選手がエントリーした。大会は見応えある接戦の連続。シングルスで初めて日本人が優勝するなど、日本人選手の活躍で連日盛り上がりを見せた。『テニスの町』を国内外に発信する能登国際。会場に詰めかけた観客の多くは「観戦すると本当に面白い」と声をそろえていた。

【写真の説明】  
①プロ転向時に「かわいすぎるテニスプレーヤー」として話題になった美濃越舞 (20 歳) は、高校時代から 5 年連続出場 ③「能登町とテニス」をテーマに絵画を募集。右から最優秀賞の坂口歩さん (松波小)、能登国際賞の浦下真緒さん (小木小) と仲谷怜朗 (れお) 君 (柳田小) ④予選から勝ち上がってシングルスで制した伊藤和沙 (27 歳) ⑤2 年連続準優勝となった江口実沙 (20 歳) ⑥世界ランク 199 位で本大会第 1 シードとなった波形純理 (30 歳) は 2 回戦で敗退 ⑦大会を支えるラインパーソン ⑧9 月 5 日は唯一 6 面を使って試合が進められた ⑩ダブルス優勝の飯島久美子 (右) と米村明子 ⑪決勝戦が行われた 8 日と 9 日は能登高校ソフトテニス部員 (ピンクの T シャツ) がボールパーソンを務めた

【大会結果】  
シングルス  
優勝：伊藤和沙、準優勝：江口実沙  
ダブルス  
優勝：飯島久美子・米村明子  
準優勝：宮村美紀・田中真梨

